

妙教寺だより

第24号

平成20年元旦

謹賀 新年



平成二十年

霹靂火戊子歳

元旦

年頭の御挨拶

妙教寺第七世
元寇園教会第五世

順信院日薫

荒木英知

平成二十年戊子歳つちのえねの初春
を迎え、謹んで賀詞を言上し、
檀信徒の皆様へ心からお悦
びを申し上げます。



新年を迎える当山山門

日頃、妙教寺檀信徒護持
会会員の皆様方には、護法護
持の念厚くして、當山の興隆
発展の為に皆様より、ご浄財

喜捨を賜り、種々の高配に対
し、総代護持会役員一同心
から御礼申し上げ、當山の興
隆と檀信徒の皆様方の家運
隆昌並にご多幸をご祈念申
上げます。

當山開基開創百五十年

さて、當山香華道場は、春
日原春日山に創建せられ、
御清正公さま菩提寺・旧本
山・発星山本妙寺の縁由によ
り、明治十二年十月、一致
派説教所が創立開山され、
後に愛敬結社教会と称し、
更に昭和十七年三月、これ
を筒井教会と改め、昭和二
十一年十月、本教会が妙教
寺設立の日蓮宗の承認を得
て、宗教法人「春日山・妙教

寺」と寺号公称となりました。
その間、開山(創設)・禰心院
日明上人(勝立寺住職、渡辺
正道上人・明治二十八年一
月十六日没)二世・禰厚
院日温上人(勝立寺住職、新
野正觀上人・大正十二年一
月四日没)三世・大光院日
演上人(法性寺住職・吉倉前
誠上人徒弟、松下前暢上人・
昭和二十三年十二月十八日
没)第四世・宣正院日温上人
(楠田泰解上人、香正寺法類、
昭和四十三年三月三十一日
没)第五世・順忠院日貫上人
(花田英忠上人・平成十五年
十一月十八日没)第六世・順
正院日賢上人(花田英喜上
人(平成十二年八月十二日
没)の各歴代上人が、檀信徒
各位、異体同心協力一致で
山門整備事業に止暇断眠盡
粹され、意を専ら檀信徒の
教化育成に注がれること、以

来百二十七有年、爾来、幾星霜を重ね、大野城春日原の地に於いて、法華經の道場として、代を累ぬること七世にして不肖日薫に至る。



当山御霊屋に掲げられた三枚続の大曼荼羅御本尊

清正公様第四百年忌

當山には、「三枚続きの大曼荼羅本尊」の靈宝をお祭りしています。この本尊は、慶長十六年（一六一一）六月肥後の国五十四万石の領主加藤清正公の逝去時に大導師を勤められた、京都大光山本圀寺第十七世鷲峰院日桓上人開頭の御眞筆と称し、

法華勝縁の然らしむる處、以来、肥後本妙寺清正公大尊儀の応護を賜る寺院として又、昭和十年に日本の至宝「北村西望」作の「甲冑姿の清正公」をおまつりし「春日原のお清正公さん」又、「三沢のお清正公さん」と皆さまから親しく帰依されて今日に至っています。



甲冑姿の御清正公様

門運動として「立正安国・お題目結縁運動」がスタートし、日蓮大聖人ご降誕八〇〇年に向つて、新たな第一歩をふみだす、新しい始まりの年でもあります。檀信徒にとつて、平成二十年初頭が出发点として、今後、如何にあるべきかを、信者一人一人が、心に問いかけ、実行するかを、答えるとき、「お題目布教」にかせられたものは大きな意義があると思います。

宗祖御降誕八百年

只今、日蓮宗宗門では、平成十九年度よりいよいよ新宗

私共がお唱えする「御題目」は、七百年有余年の歳月を超えて、一切衆生をして、日蓮大聖人が身命をとして命がけで弘通なされた、全人類が等しく救われ、仏になれる道「お題目神秘」をお示し下さいました。

2021 年（平成 33 年）

宗祖日蓮大聖人御生誕 800 年

2028 年（平成 40 年）

妙教寺開基開創 150 周年

今後は、宗祖、御生誕生八〇〇年にむけて、日蓮門家が目指すところの、次の世代へ「伝えるための、お題目布教の展開」を掲げ、原点に立ち返り、真のお題目を唱えていきたいと存じます。



日蓮聖人誕生の靈跡 誕生寺

當山のお題目修行者の方々こそ、真の弘通者として、信者の本分を尽くすこと、宗

祖の御本願を相続するための、その「お題目の輪」を弘めねばならぬ責務がある
と存じます。

これからは、私共が一丸となつて未信徒に「お題目」を伝える事が、私たち信者が願う「お題目の輪」を弘めを負うべきことであり、弘通者の本来の面目であると考えます。

さらに、日頃「お題目の修行」で体験体感された、ご修行の功德をもつて、今後は、ご家族揃つて、宗祖がお示し頂いた「お題目の神秘」を語り、伝え、弘めながら、日々の信行生活に精進され、特に、各々が菩提寺の興隆発展と教線拡張の為に、日蓮宗の信者としての本分を果たされますことをご祈念申し上げます。

慶讃記念事業

最後に、宗祖御降誕八百年の記念すべき嘉辰を目的とするとき、全国日蓮宗寺院において宗祖の御遺徳をお慕いする報恩行として、宗門が提唱するところの、「第一期・第二期・第三期・第四期」を設け長期に亘る各種の「慶讃記念事業」が計画されています。

當山においても、殊に、明治十二年開闢以来、平成三十六年に妙教寺の開創一五〇年や、特に、平成二十二年に清正公御入滅四〇〇年の慶節をお迎えします。

これらの、聖日に向い、祖恩報謝の一端に擬せんと欲して、その「宗門慶讃勸募基金支援」「宗門大法要・祖山総登詣団参実施」などの支援や、當山の「平成の大事業」として「慶讃記念事業並び大法

要奉行」などを発願し、後事推進するための第一歩の年と受止め、まことに時宜得た思いであり、當山の、第一期整備事業の段階の時機が到来したと存じます。

本年度より、いよいよ「慶讃記念事業」に取り組むため、本総代会に諮り、今後、役員会を重ねながら、更に、慶讃事業委員会(仮案)を設立して、種々の方策を鑑み考案いたし、これからは、総代護持会役員会に時を計りご相談申し上げ、忍難慈勝の感恩に報い邁進したいと存じます。

今後とも「護法護持」と「寺門興隆」の為、僧俗一体にて邁進いたしますので、檀信徒各位の一層の御支援御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。住職の年頭挨拶といたします。

南無妙法蓮華經

筆頭総代 村上 卯三



“お題目のつどい”での村上筆頭総代（福津市妙圓寺於）前列左

合掌 平成二十年の元旦を寿ぎ、寺院・檀信徒の皆様、心からお慶び申し上げます。

妙教寺檀信徒御一同様には益々御壮健で元旦の初詣りを迎えられました事を、感謝の念を持つて祝福させていただきます。

旧年は異常気象で寒暖の差が激しく厳しい一年ではありましたが、年中諸行事には沢山の皆様方の御参詣を賜り、日蓮大聖人様、日貫上人様、日賢上人様又、御先祖様が、感謝の念をお慶びになられ

た事と存じます。

お蔭様で旧年中も妙教寺の運営諸行事にも滞りなく進める事が出来ました事に、感謝の念を持つてお礼申し上げます、本年も又、私の希望ではあります但し、団参旅行を計画させて戴きたいと思っております。

本年も又、寺院・檀信徒の皆様のお健康をお祈り申し上げ、護持会運営に御協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶に代えさせて頂きます。

南無妙法蓮華經



元寇園教会の芋ほり会に参加された村上筆頭総代（前列左より2番目）

婦人会会長 古賀 静枝

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

婦人会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は、各行事に、ご参加頂き心より有難く感謝申し上げます。

今年も早いもので、元旦を迎えたと思ったら、一月二十日には、婦人会主催の寒修行が行われます、皆様のお詣りをお待ちしております。

寒修行と云いますと、数十年前の事が鮮明に思い出されます。今はお亡くなられて、お浄土へと旅立たれた方々の顔も目にうかびます。

おばあさんになって、始めて参加させて頂きましたときの事です、二十数人で太鼓を叩き乍ら、南無妙法蓮華經と唱え一軒一軒お米を頂き

謹んで新年のお慶びを申し上げます

平成二十年霹靂戊子歳 元旦

妙教寺 筆頭総代

護持会会長 村上 卯三

五、六軒も廻ると重たくて、仲島の村上さんと二人で大黒様の様に、肩に担いだ肩が痛くなり、なかなかお題目を唱える事が出来ませんでした。

乙金から山田までは、今の様に家も立っていません、一本道の長い事、雪と風にさらされ乍ら一生懸命について行ったことが、今は懐かしく思われます。このようなお導きを頂いたご先祖様に感謝の気持ちで一杯です、本当にご先祖様は大変だったと思われ、少しでもご先祖様にお返しが出来ればと思う今日この頃です。

片方が喜べば、片方で嘆きの人生があります、これからも、出来る限り、自分の心と身体と信仰による、罪障消滅の為に、皆様と共に精進して参りたいと願っています。

何時までも、強く美しく桜の花が咲く様に…在りたいものです。もう暫くすれば桜の季節です、季節の移り変わりも速いものです。

今年もよろしく願ひします。

又、婦人会では、寒修行をはじめ、四月の花まつりの花御堂作り、十月のお会式の「桜花」作りは、主たる活動となっており、役員以外の方でも是非ご参加ご協力頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

南無妙法蓮華経



餅つきで鏡餅を作られる
古賀婦人会会長（中央）

護持会事業担当部長

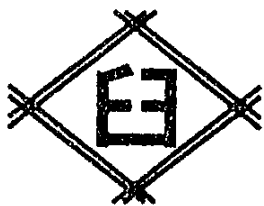
臼井 義光

“真の平等”

「天は、人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」これは、福沢諭吉先生の人間の平等を説いた有名な言葉です。

しかし、現代社会では、いじめによる自殺、人種差別、宗教差別、テロ、戦争、不平等な事が多くあり過ぎます。何故でしょう？ いつになつたら…？

私は、御前様（順忠院日貫上人）の法話の中で、「仏教は、森の中で生まれ、他の宗教は、砂漠の中で生まれた。この違いは、“平等”ということを考えてた時に良くわかる。」とおっしゃっていた事を思い出します。



建設業

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 臼井組

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9 TEL(092)932-7397

砂漠で生まれた宗教は、自分が信じるもの意外は、下等（悪）なものだとして、改宗させ教えを広めて来ました。時には戦（いくさ）を興（おこ）してまでも…

一方、大自然の中で生まれた仏教は「生物（いきもの）（植物・動物・人間）すべての命が持つ魂（仏性）において平等である。」と説いて、その教えを広めてきました。この教え（思想）は、「人間同志が平等である」という考え以上に広く、深く、気高い教え（思想）だと思います。

又、御前様は「二十一世紀は心の時代である」とよくおっしゃっていました。

今、地球をとりまく環境は、大変な時をむかえています。地球は心も体も病気です。本当の意味での平和を考えるならば、本当の意味での平等を考えなければなりません。

人間同志での平等を考えるだけではダメだと思います。

命有る物すべての平等、時を超えた真の平等を説く仏様の崇高な教えが必要な時ではないかと思っています。

全世界の人々がこの教えを心の底から理解し、実践するならば、いじめ、差別、戦争は無くなると思います。

法華経を学ぶ私達一人一人が、強い真念をもつてこの尊い教えを広める事が必要な時だと思います。

南無妙法蓮華経



住職上人と共に山門のしめ縄作りをされる臼井さん（左側）

信行会役員 高野 スミ子

『西方沖地震から

四年目を向えて』

あけましておめでとうございます。

私も今年八十歳を向えさせていただきます。これも一重に信仰のおかげと、感謝致しております。

四年前の三月のお彼岸のお中日のことでした。私をはじめ十名ほどで、元寇園教会にお参りに行きました。御宝前へお膳を作り、果物等をお供え致しました。その後、皆さんと作業着に着替え、野菜・花の手入れ、草取り、小高い丘の竹きり、木の根払いを致しておりました、昼近い時間でした、ドーンといって地の底より地面を押し上げるような音がして、今度は、激しい

御祝い・法事など、また、ご進物・ご贈答に

しよ子本舗 青野堂 のお菓子を愛用下さいませ

名菓 しよ子 大野城サティ店
大野城市錦町4丁目1-1 大野城サティ1階
TEL・FAX 092-592-2126



横揺れで、崖から振り落とされそうで、腹ばいになり竹の根につかまり、揺れに身をまかせただけで、大変恐ろしく、何秒が何十分にも感じられました。辺りを見ると、大きな溝がいくつも出来ていました。

余震が続く中、家の中から陶器が割れ物が倒れる音がものすごく、おそろおそろ家の中に入りますと、障子は折れ、壁は落ち無残な様子でした。しかし、御宝前の日蓮大聖人様のお姿はご無事で、堂々としたお姿で守りいただき、大変勇気を頂きました。

震源地は目の前の玄海島でした。後片付けに何日も掛かりましたが、数日後、村上総代がお見えになり、無残な状態を見られて「これは大変です、この修理は私に任せて下

さい。」と言われすぐ大工さんを手配をし、畳替え、床の張替え、障子と次々に修復して下さいました。おかげをもちまして、地震で被害があったとは思えないように綺麗になりました。

さて、昨年十月十七日には御住職上人をはじめ、護持会・婦人会・信行会の役員有志の方々と檀信徒有志により、芋ほりを致しました。一昨年は、イノシシにいたずらされ、一個も収穫できず残念でございましたが、昨年のご承知の通り大豊作で、皆様方に少しはございましたが、ご供養させていただきました。又、皆様方に大変喜んでいただき、菩薩行に行っている皆も嬉しく、元気が出てまいります。

今度は、樋口さんのご供養で玉ねぎを千五百本植え付

けいたしました。又、皆様に沢山お配り出来るよう頑張りたいと思います。

十一月の施餓鬼会の御住職上人の法話の中で「長生きしているという事は、まだしなくてはならない事があるから、生かされている」というお話がありました。そのお言葉を心に持ち、尚一層励みたいと思います。

また、野菜作り、花作り、心作りを妙教寺だよりでご報告させていただきます。

南無妙法蓮華經



今年も沢山の玉ねぎの苗を植えることが出来ました。

拝む心で尊い品を

梅谷仏具店

本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9

TEL 092-271-0456

年中無休 駐車場完備

支店 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4

TEL 092-806-7499



日蓮大聖人のおとば ③

諸法実相抄^{しよほうじつそうしやう}

一閻浮提第一の御本尊を信じさせ給へ^{いちえんぶだい}

あひかまえて、あひかまえて、

信心つよく候て三仏の守護を^{ぞうごう}

かうむらせ給ふべし。^{たも}

行学の二道をはげみ候べし。^{ぎやうがく}

行学たへなば仏法はあるべからず。

我もいたし人をも教化候へ。

行学は信心よりおこるべく候。

力あらば一文一句なりとも

かたらせ給ふべし

(聖人五十二歳佐渡での著述)



法華經流布の為鎌倉で辻説法をされる日蓮大聖人

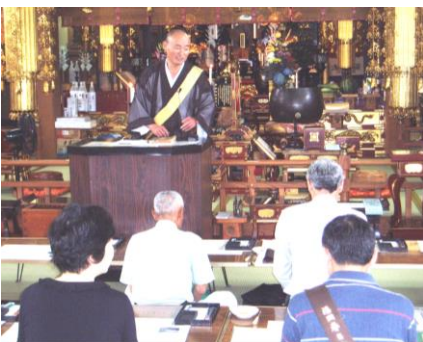
行とは「行い」(実践すること)、学とは「智慧」(教えを学ぶこと)行学の二道を励むためには、必ず「信心」が前提となります。行学への精進が又、信心をより一層深めることとなります。

「信心」とは、お釈迦様のみ教え(法華經)に絶対帰依する、つまり心から信じ行うことです。自らの「我」を捨て菩薩行を行い、おことばのように自分の器量(自分の形で良

い)の及ぶところ、たとえ一節でも一句でもまわりの人達に語りかけましょう。まずは、身近な所から始めてはいかがでしょうか。

当山に於いても、毎月第一日曜日午後十二時より「信行会」を行っています。お経の読み方や身近な仏事作法等、法華經法師品に説かれてる五種法師(受持・読・誦・解説・書写)の修行(如説修行)を基本として行っています。お気軽にご参加下さい。お待ちしております。

(高野 英典)



信行会で法話をされる住職上人

寺宝 ③

鬼子母神御尊像

(当山御守護神)

鬼子母神様にまつわる物語は皆様も一度は耳にされたことと思います。

昔、お釈迦様の時代にさかのぼります、インドの王舎城という町で、子供をさらっては食べ又、自らの子供に与えるという、大変おそろしい夜叉女のハーリティが、お釈迦

様の教えを聞き心を改め懺悔し、その後は、困っている人を助け、仏の道を説きひろめる人や特に子供を守護する大善神となられたというお話です。

しかし、この物語には見逃してしまふ大事な所があります、子供達をさらわれた村人達がお釈迦様に救いを求め相談した時のことです、お釈迦様は村人から一通り事

がらにネズミを追うように、因果の掟により訳もわからな

の状況を聞くと、ハーリティではなく、村人達に先に教化なされたのです、遠い昔、この

村で身重だった牛飼いの女が村人達につれない仕打ちを受け、その恨みをもって、夜叉女として生まれ変わったハーリティは、猫が生まれな

解上人の代に当山に勧請されたもので、約七十年ほど前に作られた御像です。

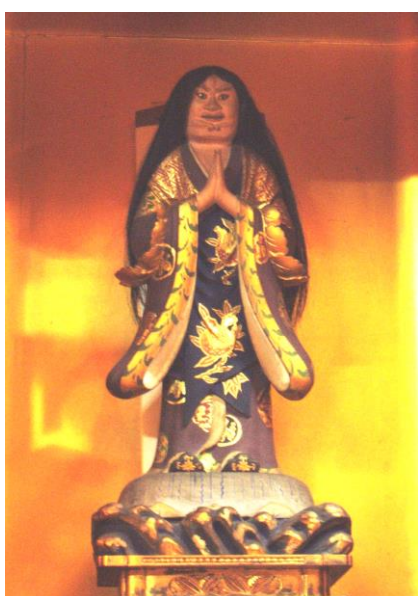
〔参考〕

鬼子母神像形には大きく分けて、関東形・関西形があります。

『関東形』は、鬼形で総髪・合掌・憤怒のお顔立ちです。又、『関西形』は、天女形で瑞麗豊満・有角・抱児のお姿です。日蓮宗では、修法の特徴である、降魔調伏の面から更に「鬼」の字の重視から関東形の鬼形像が一般的となりました。これに対し、元から関西形の天女像も作られ本宗では、鬼形像は破邪調伏、天女像は安産子育てと分けて説明しています。

(高野 英典)

「各書参考」



当山安置の鬼子母神様 (関東形)

信行会より

《仏事の豆知識》②

「回向功德鈔」

我れ 父母の物を ゆづられながら、死人になれば何事の あるべき と思て、後生を訪はざれば、悪霊と成り、子子孫孫に たりを なす と 涅槃経と申す経に 見えたり。云々
(大意)

父母の物をゆずられながら、死人であるから何事もないであろうと思つて、後生(亡くなった後)を弔わなければ、悪霊となり、子々孫々にたたりをなす、と――
涅槃経というお経に書いてあります

“法要の知識と心得”

日蓮宗の法要とは、一般的には法事と呼ばれ、この世に

残った者で、故人が靈山浄土に安住するように行う追善供養のことで、故人の供養を通して先祖の恩に感謝する良い機会でもあります。

死亡の日から四十九日までを中陰または中有といい、七日ごとに中陰忌法要が営まれ、三十五日忌(五七日忌)と、忌明(満中陰)の四十九日忌(七七七日忌)は、家族だけでなく親戚縁者も招いて法要を行う。

地方によつては四十九日が三ヶ月目にかかる「始終苦が身につく」として、三十五日できりあげる習慣もあるが、俗説であつて仏事は丁重にすべきです。また、関西などでは「お逮夜」といって、その前夜に法要を営むところもあります。

百廿日法要(卒哭忌)は、悲しみの中で過ごした遺族も気

持が落ち着いてくるといふことから、悲しみの終わる日として供養します。年忌法事は一周忌から五十回忌まであり特に一周忌・三回忌・七回忌までは親戚はもちろん、友人、知人にも知らせて参列してもらふと、故人への良い供養となります。

又、法事の日程を決める場合は、事前にお寺側の都合との調整をしてから日時決定をした後に、参列者の方々に案内して下さい。

“お霊供膳の供え方”
法事、命日、盆彼岸等特別な時にはお霊供膳をお供えしましょう。

霊供膳は精進(肉・魚類を使用しない)で味付けしたものを盛付け、お箸と漬物を添えます。料理を盛付けたら仏前に箸が向くようにお膳をまわしてお供えして下さい。(左図参照)

(高野 英典)
双葉社「日蓮宗のお経」参考

《霊供膳の一例》



お 仏 壇 側

- 親碗→ご飯(山盛り)
- 汁碗→味噌汁又はお吸い物
- 高皿碗(腰高)→漬物
- 壺碗→和え物、煮物
- 平碗→煮込み物

季節の行事

“節分と追儼会”

春を迎える行事「節分会」は、全国各地の寺院や神社で盛大に営まれ、「豆まき」で賑うのが慣わしです。

「今年一年、病気になりませんように」「幸せな毎日が送れますように」との願いをこめて、寺院や神社で、また、各戸で、「鬼は外、福は内」と叫び、威勢よく豆をまくのが節分会の行事です。

「節分」は「セチブン」と読むのが正しいとされるが、今では一般に「セツブン」と読み、寺院においては「節分会」または「節分追儼会」とよんでいます。

「節分」とは、季節の分かれる時の意味で、本来は立春・立夏・立秋・立冬に移る時を

さします、昔は太陰暦（旧暦）を使っていたので、十二月下旬か正月初旬が立春にあたりました。そこで、年越しとかさなる立春だけが、いつのまにか「節分」とよばれるようになり、現在では節分といえば、立夏・立秋・立冬とは関係がなくなり、立春だけを意味するようになったわけです。つまり立春の前日を「節分」とよぶようになりました。

この節分の日に「追儼」の行事が行われます。

追儼とは、「鬼やらい」「なやらい」「鬼走り」「厄払い」「厄おとし」「厄神送り」などともいい、疫病・悪霊・邪神など、つまり私たち人間に害をなすもの、私達を苦しめるものを追い払う行事です。そして福の神・善神・守護霊など、幸せをもたらすものを招きい

れる行事でもあります。昔より、三毒心転じて三福求得すると云われています。人の心の中にいつの間にか三つの害（毒）の心が生じて来る。

①貪（ムサボリ）⇨青才二

欲の亡者・血も涙も無い人

②瞋（イカリ）⇨赤才二

年中怒り狂う人

③愚痴（グチ）⇨黒才二

疑心暗鬼の人

このような邪気を祈禱修法された福豆とお題目の功德によつて洗いおとして、三福

①健康な心の福

②健康な身体の福

③物品・財の福

に転じて行く為の行事です。

当山においては、本年（平成二十年）は二月三日（日）に節分追儼会の行事を執り行います。

厄年の方、開運吉祥を願う

方、又、歳男・歳女（子歳）の方のご参加をおまちしております。詳しくは当山からの月案内をご覧ください。



豆まきをされる檀信徒さん



節分豆を修法加持によって清められる住職上人

『信行会』書写行に

参加して

先日、信行会で写経を実施しました。定年に為るまでは字も書いていましたが、今は、歟とシャベルの生活だからと、思いながら、一応の写経の心がまえを聞きながら、筆を執ってみると、手は震えるは、字は大きくなるわけで、写経の教本とは、比べものにならない字でした。

「自分は字が下手だから」という理由で「写経は良いことだ」と知りながらも、躊躇して実行しなかった。

写経は本来字の上手、下手ではありません、自分の心の問題ではないかと、雑念を捨てて真摯な気持で行ってみました

字の上手下手は問題ではないようです。

唯だ、なかなか早く書くことが出来ませんでした。二枚、三枚と書くうちに、段々それらしくなってきました。

会社の煩わしきや家庭の悩みに直面した時、心によりどころがある人と、ない人では、雲泥の差が出て来るでしょう。

こころのよりどころのない人は、悩みに執着し、問題の本質を見失い、くよくよ悩んでしまい、心に拠りどころのある人は、その執着から解放され冷静に考えることが出来る、そこに妙案も浮んでくるでしょう。これこそ、無形の功德であり、失うことの無い財宝でしょう。書写行は、五種の行の一つです。現在のように、印刷やコピー機のようなものが発達した時代となつて

も、仏語の一字一字を自分の体を通して深く心に刻み込むことが出来ればと思い、今回の挑戦となりました。

偉そうなことを述べてきましたが、なかなか、今迄の行いをすぐ変えることは困難なようです、この動じない信念を持続し信仰心を養うことが出来るのが写経ではないかと思ひ、これから写経をする時は、雑念を捨て、唯だひたすらに写経に心を向けたいと思う今日この頃です。

南無妙法蓮華經



信行会での写経風景

— 人の安全・車の保安・真心サービス —

スピーディをモットーに

民間車検・運輸省指定整備工場

井上自動車株式会社

本社	福岡市博多区麦野1丁目1-38
電話	(581)4607-3089 ☎816
FAX	(581)4796 -0082
第二工場	福岡市博多区井相田2丁目3-25
電話	571-7376

全国ネットワークのロータス優良メンバー工場

信行会会長 植村 俊親

〃施餓鬼総供養の特別講演
高寄上人のご法話を聞いて〃

高寄上人は、福岡県西筑組門中会参事をお勤めで、当山御住職と学生（立正大学）時代、同級の間柄であり、長いお付き合ひがあり、今回の講演もお忙しい中快く引き受けていただきました。

檀信徒の皆様も大勢参集され熱心に拝聴されました。

講演の内容が大変ユニークで、子育ての問題、これは、聴衆されている人が、何度もうなづく状態でした、残念なことに大半の方が子育てを終わった人ばかりで、この広報紙をお読みになった、若いお嫁さん達が次の機会に参集されれば大変参考になることとでしょう、大勢の檀信徒の

若い皆様に拝聴して戴ければ幸甚に存ずるところです。



法話をされる高寄泰道上人

その中から、私の心に残ったところを二、三ご紹介しましょう、若い人には（自分の子供）苦勞を掛けさせる、人として社会人として立っていかる人を創る、時間を掛けてでも辛抱していくことが出来る人に育てる、何ごとも時間を掛けて積み重ねていくことが大事である、積み重ねによって、仏様も働いてくださることを悟ることが出来るように

なる、人を勞^{いた}わる心も自然に備わるであろう。

此処で述べるより、またの機会に拝聴されることを希望します。その中で一つ、キリスト教では、人は死んだら天国に行く^{いく}と教えてます、念仏信者は通常、極樂浄土^{ごくらくじょうど}へ行きます、然し法華經の信仰者は^{しか}靈山浄土^{りやうぜんじょうど}に行きます、靈山浄土とは、インドの靈鷲山^{りやうじゆせん}でお釈迦様が教え（法華經）を説^とかれた所です。

法華經では、如来神力品の中に「汝等如来の滅後^{めつご}に於て、應當^{まふ}に一心に受持・読・誦^{じゆ・どく・じゆ}・解説^{げせつ}・書写し説^{せつ}の如く修行すべし」と、説かれています。

他のお上人のお話を聞くことにより見聞を広めたいと思います。

妙教寺では、毎月祈祷祭、施餓鬼供養祭、信行会等を開催していることはご存知の

ところです、毎月のお参りをお待ちしております。

南無妙法蓮華經



高寄上人の法話を熱心に聞く檀信徒の皆さん

行事スナヅあれこれ



9月 当山の庭に咲いた彼岸花



8/5 猛暑の中での清正公堂の
盆前の大掃除



10/17 元寇園教会美化作業&芋掘り会
今年は沢山お芋が取れました



9/29 福津市妙圓寺さんでの“お題目
のつどい” 唱題行をされる当山の檀
信徒さん



12/2 三沢清正公堂年末大掃除
檀信徒有志の方々により綺麗になりました



11月 乙金・船越順一さんより
施餓鬼供養会に合わせて菊の鉢
植えをお供え頂きました



12/27 当山山門の門松作り
当山総代さんにより立派な
門松が出来ました



12/27 正月お供え用餅つき
早朝より檀信徒約30名の方々
により80kg分の餅をつきました



12/16 当山年末煤払い大掃除
皆様のおかげで綺麗になりました
有難うございました

あとがき

★ ○月×日

今日も、トントン、カタカタという台所での音で、朝六時四十五分に起床。

朝食前に、五分間程で大変申し訳ないと思いますが、朝のおつとめを済ませます。

午前八時には出勤しますが、出勤途中、雨の日も、風の日も毎日のように、小学生の安全指導のため、お母さんとシルバーのお二人にお目にかかりますが、感謝の気持ちを込めて挨拶をして行きます。

「今日もご苦労様です。」

午後五時三十分に退社し、しばらくくつろいだ後にビニール袋を持って家内と一緒に散歩に出かけます。

散歩の途中、ポイ捨てられた空カンマンや、ペットボトルマン

のたぐいを拾って行きます。

毎日のように散歩に出かけますが、ポイ捨てはなくなることなくビニール袋いっぱいになって帰ってきます。

今日も収穫があった？

喜んでよいのか、悲しんで良いのか複雑な気持ちです。

就寝前には、今日も一日ご苦労さんでしたと自分に言い聞かせ、缶ビールを一本飲み、顔を真っ赤にして床につきま

す。日蓮聖人様、先祖代々の皆様今日も一日ありがとうございます。

なむ なむ なむ…

★平成二十年が檀家の皆様にとつて良き年になりますよう祈念いたします。

皆々様の先祖の方々も「千の風になつて」ある時は鳥になつて、ある時は雪になつて日々

見守つてあると思います。

先祖の方々に今日あることを感謝 感謝 感謝。

(編集副委員長 白水岩人)

『ちよつと失礼します』

最近、檀信徒の皆様で当山にお参りに来て、忘れ物をされている方が大変多いようです。又、似た履物があつて履き間違えて帰られる方もおられるようです。忘れ物に気付かれましたら連絡お願い申し上げます。



最近の忘れ物です。帰りがつてます

《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。

※くわしくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二十七号

春日山 妙教寺

○九二(五八一)一二六六

平成 17 年度～平成 34 年度

立正安国・お題目結縁運動

日 蓮 宗

平成二十年行事予定（一月～七月まで）

◎一月一日（火）

・初参詣祝祷会

午前一時より

◎二月二十四日（第四日曜）

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎五月四日（第一日曜）

・月祈禱祭 午前十時より

◎一月一日～三日（火～木）

・新春三ヶ日一部経読誦会

午前九時より

◎三月二日（第一日曜）

・月祈禱祭 午前十時より

◎一月十四日（成人の日）

・各家勧請守護神祭

・年頭施餓鬼供養会

・開運星祭り

・新春福引き大会

午後一時より

◎三月十七～二十三日
（月～日）

・春季彼岸棚経廻り

◎三月二十三日（第四日曜）

・春季彼岸施餓鬼供養会

午後一時より

◎一月二十日（第三日曜）

・寒修行会（婦人会主催）

午前十時より

◎四月六日（第一日曜）

・月祈禱祭 午前十時より

◎二月三日（第一日曜）

・月祈禱祭・節分追儺会

午前十時より

◎四月十三日（第二日曜）

・花まつり 釈尊降誕会

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎五月二十五日（第四日曜）

・各家勧請守護神祭

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎六月一日（第一日曜）

・月祈禱祭 午前十時より

◎六月二十九日（第五日曜）

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎七月六日（第一日曜）

・月祈禱祭 午前十時より

◎七月二十七日（第四日曜）

・土用丑の日秘法灸大祈禱会

午後一時より

◎毎月第一日曜日は

・信行会（十二時より）

・三沢清正公堂お参り

（午後より）